

# ネイチュアフィーリング in ゆざわ

令和元年度 環境あきたエコ活動支援助成事業

## 事業報告

令和2年3月7日(sat) 遊学舎

NACS-J 秋田県自然観察指導員連絡協議会



### 自然観察指導員とは

自然観察指導員とは、「自然観察からはじまる自然保護」を合言葉に、地域に根ざした自然観察会を開き、自然を守るための仲間をつくるボランティアリーダーです。



“自然観察会をする”

- ⇒ たくさんの人に自然の魅力に気づいてもらう
- ⇒ 自然を大切にしようと思う仲間を増やす
- ⇒ 豊かな自然を次の世代に引き継ぐ

“自然保護・環境保護につながる”

一人一人の出来ることはたとえ小さくても、思いを持った人が全国各地で少しずつでも活動することで、たくさんの仲間をつくることができます。そして、仲間の思いが集まれば、社会を変える大きな力になります。

自然のすばらしさ・環境保護の大切さを観察会という形で一般に広めていこうとしている秋田県在住者が集まって「秋田県自然観察指導員連絡協議会」を構成しています。



自然保護・環境保護は、自然を知ることから始まると思っています  
年間を通じて、自然観察会を企画し多くの市民に自然保護・環境保護の大切さを  
理解してもらっています

今回は特に、野山に出かける機会が少ないであろう視覚障害者に体験してもらい、  
環境保護の意識を高めてもらいたいと考えました  
それが人づてに広まれば大成功！

『環境保護は自然観察から始まる』の方針のもと  
障害者と健常者がいっしょになって  
自然に親しむ機会を増やしたい  
行動のバリアフリーをここから！

- ・ 実施日 令和元年 9月28日(土)
- ・ 場 所 湯沢市 前森公園
- ・ 参加者 視覚障害者11名（付き添い1名を含む）、一般3名、サポートスタッフ16名 **総勢30名**
- ・ 内 容

普段、ほとんど野山に出かけないであろう視覚に障害をもっている方々と健常者が交流を深め  
ながら、ともに自然観察会を行った。（ネイチャア・フィーリング、ノーマライゼーション）

昼食後、野鳥の鳴き声CDを用い自然のすばらしさを堪能してもらったり、臭いに特徴のある植  
物を実際に嗅いでもらった。

今回は、秋田市・大仙市・仙北市・湯沢市の視覚障害者福祉協会会員と一般の方も参加者して  
くれた。



### 【参加者の感想】

参加を呼びかけた時は、今年の夏が暑すぎてフィールドに出る気になれないという声が多数あったが、参加してみて楽しかった。是非またやってほしいという声に変わった。

### 【今後に向けて】

自然のすばらしさを体験し、守るべき自然、大事な環境を考える第一歩となった。この啓蒙活動は単発ではなく繰り返すことによって浸透させるべきと感じた。スタッフの配置等、反省点を次年度以降に生かし継続したい。





